

まちづくり市民アンケート集計結果(行政改革関係)

1 アンケートの概要

村上市の総合計画を策定するために平成20年7月に市民のまちづくりに対する考えについてアンケート調査を行いました。無作為抽出による市内在住の成人5,000人に25項目の調査書を郵送し、ポストに投函していただく方法により、2,054人から回答をいただきました。回答率は、41.08%で半数に届きませんでした。

2 行政改革関係調査項目の結果から読み取れること

10ページ 問13 各種施策の重要度の「市民参画・行政経営分野」

- ・「2 市民参加の促進」、「5 協働の仕組みの構築」について「とても重要」、「やや重要」と回答した人が約60%に留まっています。そのうち「とても重要」と回答した人は、約20%しかなく、未だ市民参加や市民協働については関心が低いことを読み取ることができます。
- ・「6 行政組織のスリム化・合理化」、「7 行政サービスの向上」、「8 財政基盤の強化」について「とても重要」、「やや重要」と回答した人が約80%に達しています。そのうち「とても重要」と回答した人は、約50%であり、市民の要望の度合いが強いことを読み取ることができます。

11ページ 問14 今後のまちづくりに関する市民と行政のかかわり方

- ・「行政にまかせる」は、わずか3%しかなく、市民等の意見は行政に反映されるべきという考え方が大勢であるということを読み取ることができますが、その内容については、「市民等と行政が対等の立場で議論し」と、「市民等の意見を聞いて行政が責任をもって」に、考え方が二分しています。

11ページ 問15 まちづくりにおける行政との協働への参加意向

- ・「積極的に参加」、「アンケート等なら意見を述べたい」という積極・やや積極を合わせても半数に達しません。しかも、このアンケート調査に回答協力していただけなかった人が約60%もいますので、この項目からも未だ市民参加や市民協働については関心が低いことを読み取ることができます。